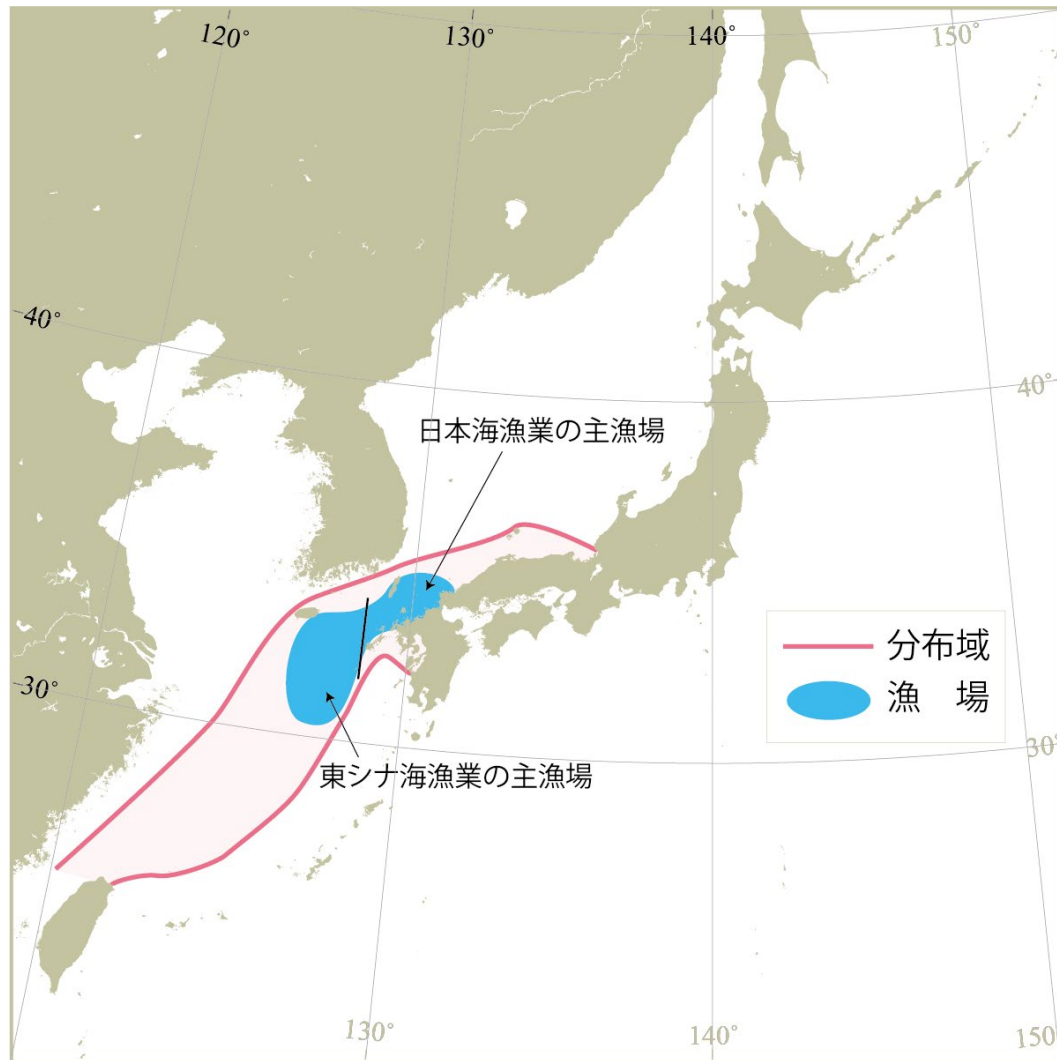




# キダイ日本海・東シナ海系群 令和3年度資源評価結果

# 生物学的特性

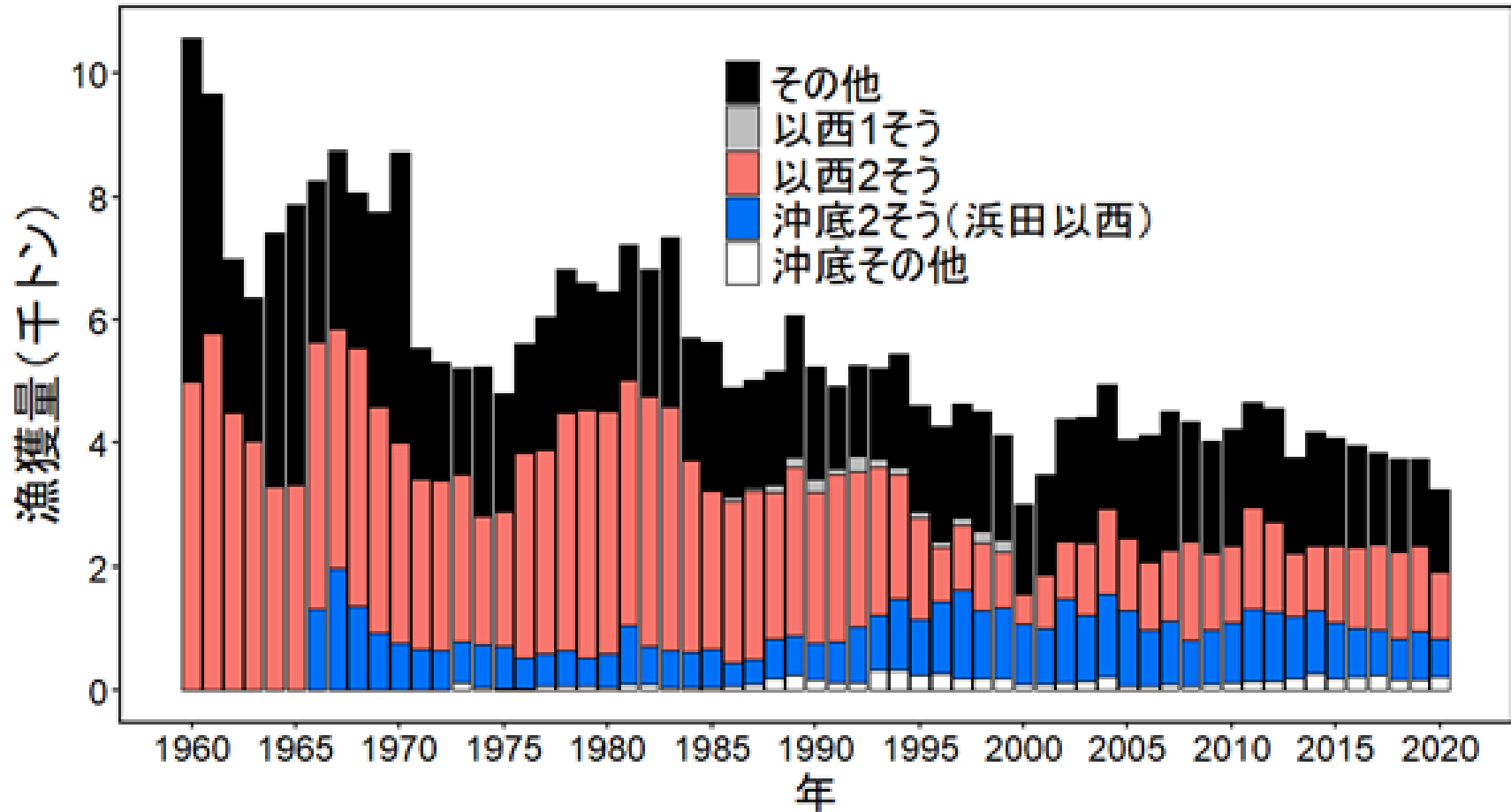


## 生物学的特性

- 寿命: 8歳以上
- 成熟開始年齢: 2歳(50%)、3歳(100%)
- 産卵期・産卵場: 年2回(春季と秋季)、五島西沖～済州島、沖縄北西の大陸棚縁辺、台湾北東の大陸棚縁辺、浙江、福建近海
- 食性: 主に甲殻類
- 捕食者: 不明

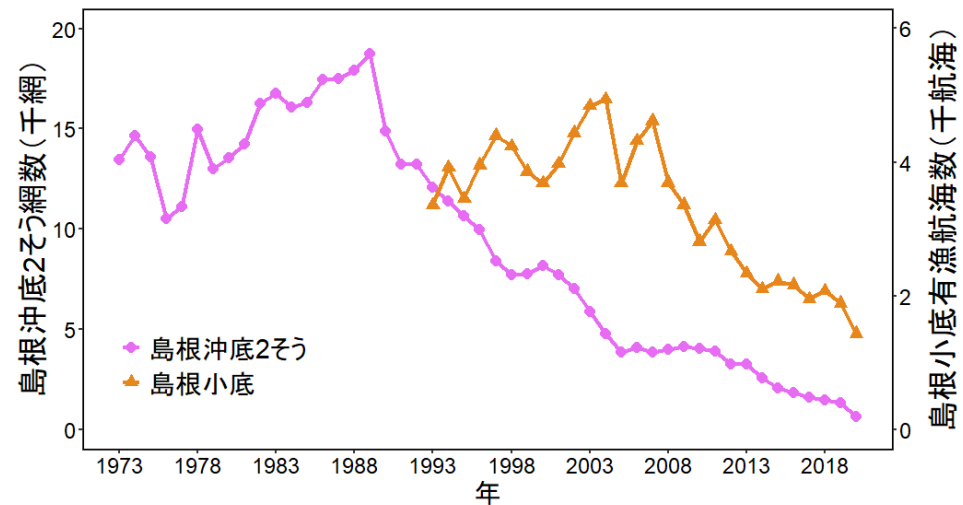
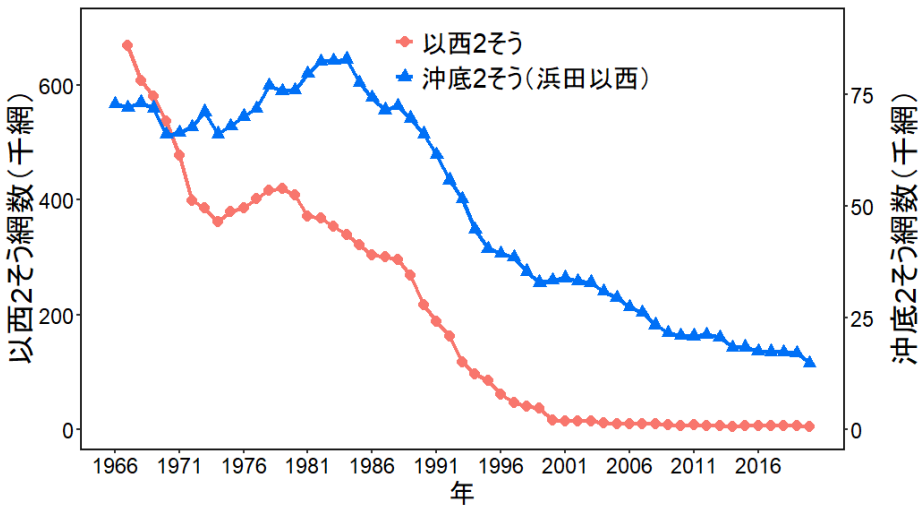
・ 東シナ海では、中国・韓国漁船によっても漁獲される

# 漁獲の動向①



- 1960年代：7千トン以上、近年4千トン前後
- 2020年：3,250トン（1960年以降で2番目に低い値）

# 漁獲の動向②



- 以西2そう・沖底2そうの総網数は1980年代以降ともに減少傾向
- 島根沖底2そうの総網数は1990年代以降減少傾向
- 島根小底のキダイ有漁航海数は2007年以降減少傾向

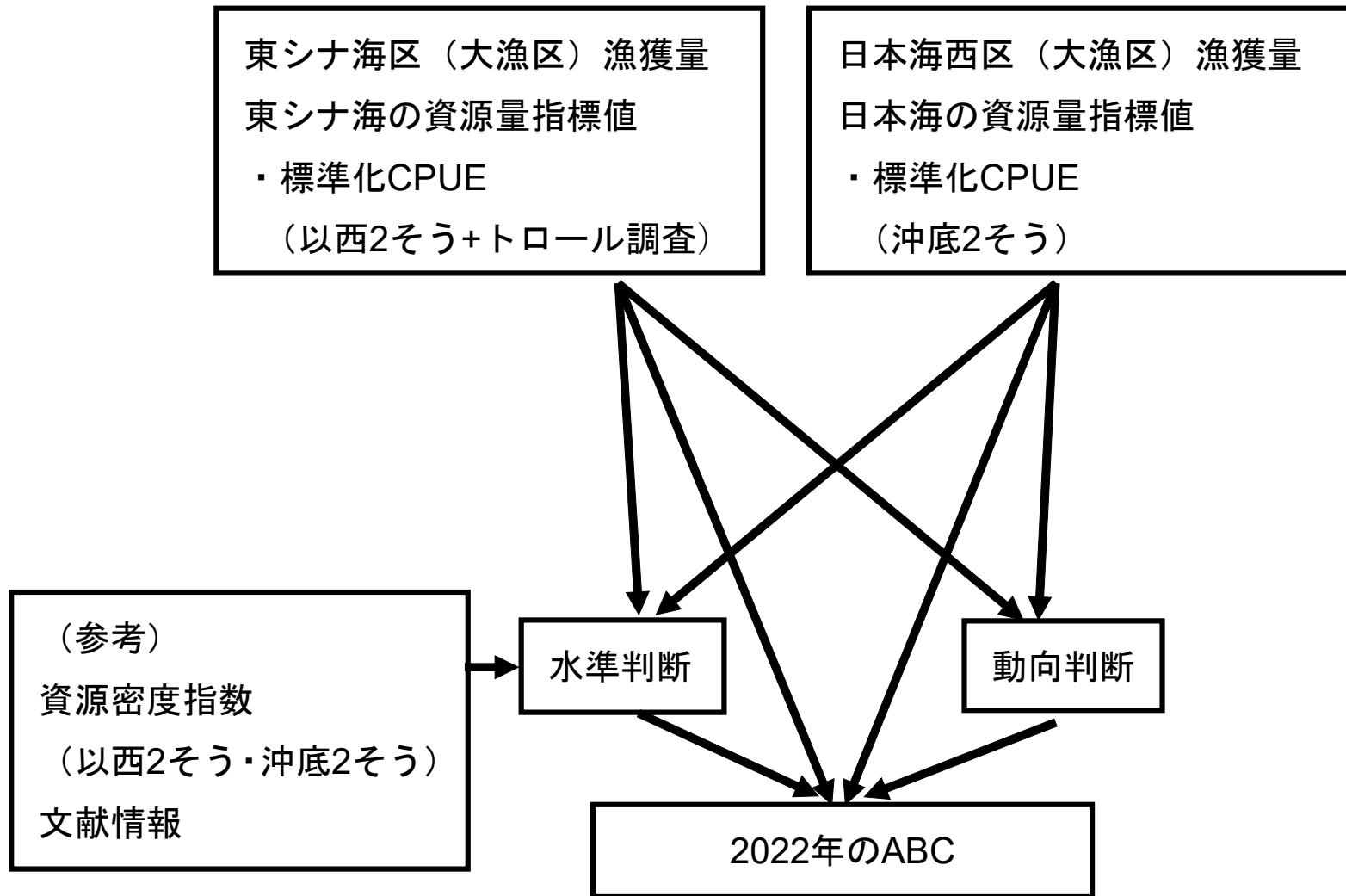
※以西2そう：2そうびき以西底びき網漁業

※沖底2そう：浜田以西に根拠地を置く2そうびき沖合底びき網漁業

※島根沖底2そう：島根県内の2そうびき沖合底びき網漁業のうち浜田よりも東に根拠地を置くもの

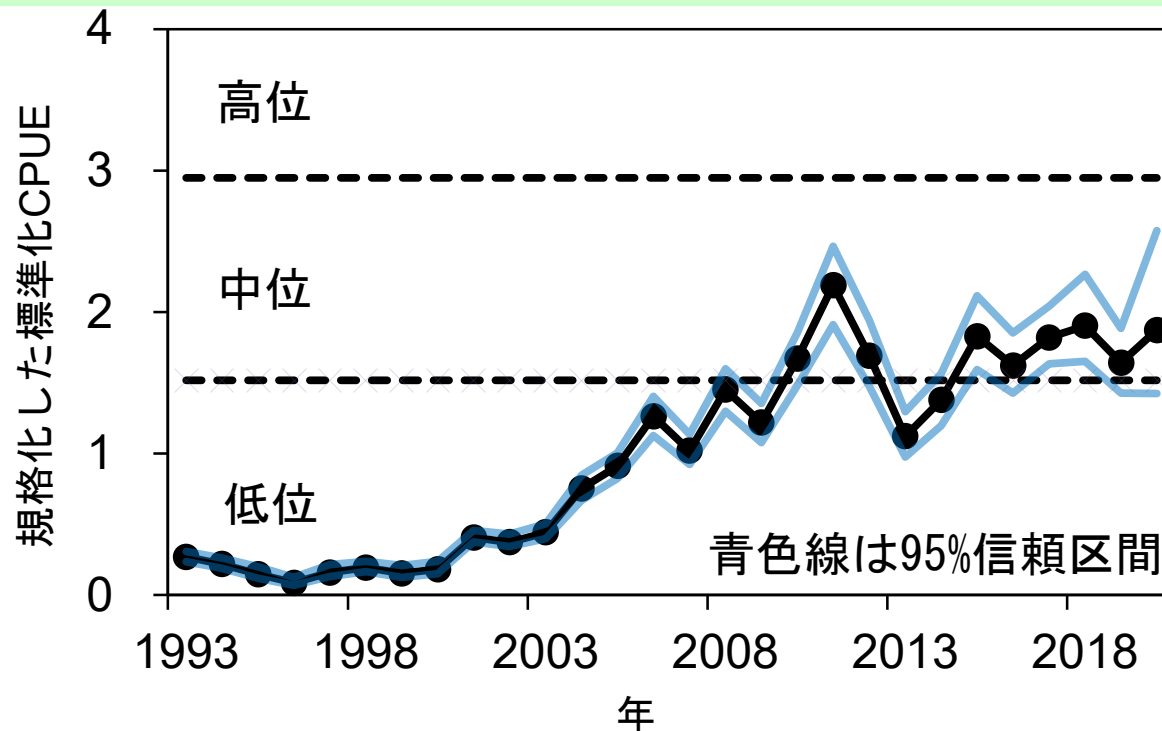
※島根小底：島根県小型底びき網漁業

# 資源評価の流れ



# 資源の動向①

東シナ海



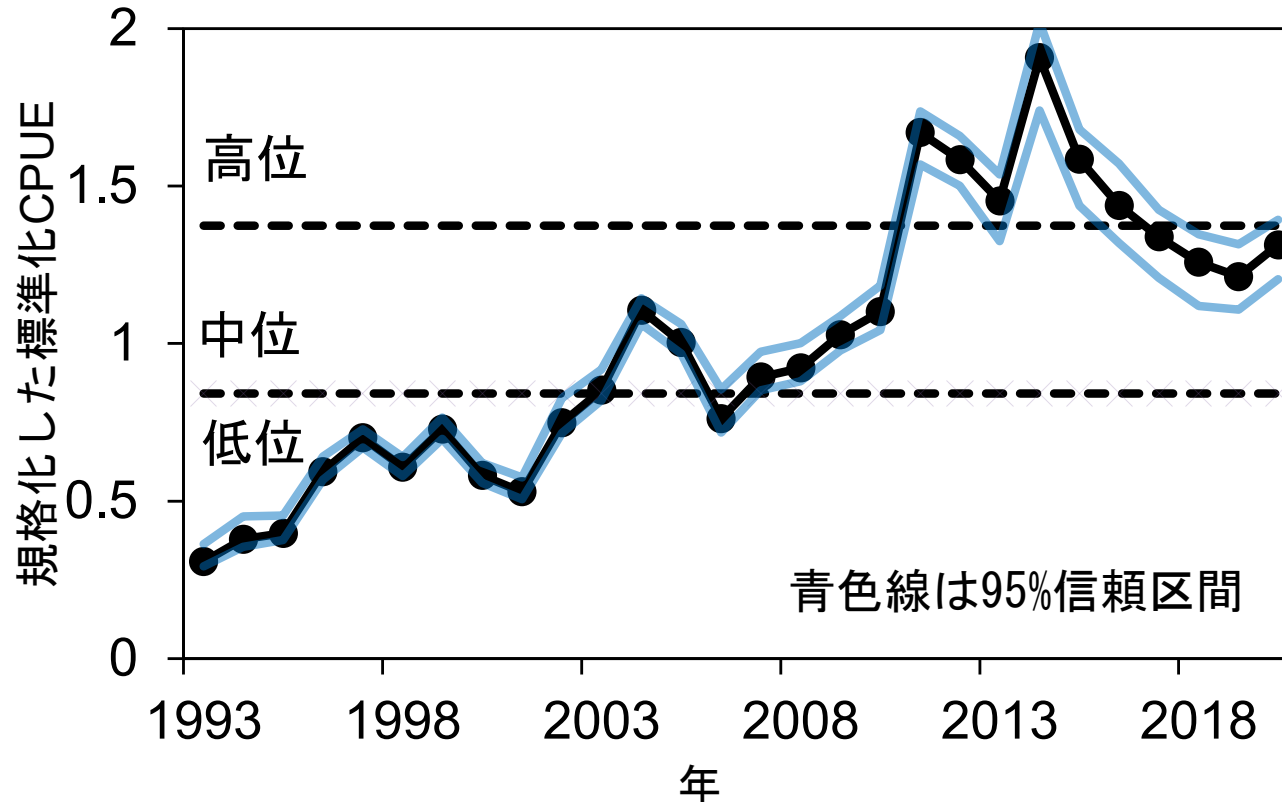
※水準区分（東シナ海） 低位／中位：標準化CPUE 1.52、中位／高位：標準化CPUE 2.95（2011年の標準化CPUEの2倍（4.38）を歴史的最高水準と仮定した上で最低値との間を3等分して算出）

- 東シナ海では以西2そうとトロール調査のデータから求めた標準化CPUEから判断
- 資源水準：2020年の標準化CPUEは1.87で「中位」
- 資源動向：2016～2020年の標準化CPUEの推移から「横ばい」<sub>6</sub>

※CPUE：単位努力量当たり漁獲量

# 資源の動向②

日本海



※水準区分（日本海） 低位／中位：標準化CPUE 0.84、中位／高位：標準化CPUE 1.37（1993年以降の標準化CPUEの最高値と最低値の間を3等分して算出）

- 日本海では沖底2そうのデータから求めた標準化CPUEから判断
- 資源水準：2020年の標準化CPUEは1.31で「中位」
- 資源動向：2016～2020年の標準化CPUEの推移から「減少」

# 資源評価のまとめ

- 系群全体の資源水準は中位、動向は横ばい
- 標準化CPUEから資源状態を判断
- 海域ごとのABCを合算して2022年ABCを求めた

## 2022年ABC

管理基準	Target/ Limit	2022年ABC (百トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値か らの増減%)
$1.0 \cdot C2020_{ECS} \cdot 0.99 +$ $1.0 \cdot C2020_{WJS} \cdot 1.02$	Target	26	—	—
	Limit	33	—	—

- ・ 1.0 : 資源水準が中位の場合の標準値
- ・  $C2020_{ECS}$  および  $C2020_{WJS}$  : それぞれ2020年における東シナ海区  
および日本海西区の漁獲量
- ・ 0.99、1.02 : 標準化CPUEの推移から算出